

ミュージアム コンサート

Museum Concert

2023年8月12日(土)14時~15時

演奏者

安保 恵麻 (ヴィオラ)

テーマ

無伴奏ヴィオラで聴く **B** → **C**

バロック コンテンポラリー

= program =

J. S. バッハ (1685-1750)

無伴奏チェロ組曲 第5番から プレリュード

アンリ・ヴェータン (1820-1881)

カプリッチョ

マックス・レーガー (1873-1916)

無伴奏ヴィオラ組曲 第3番

クシシュトフ・ペンデレツキ (1933-2020)

カデンツァ

J. S. バッハ/コダーイ・ゾルターン (1882-1967)

半音階的幻想曲



= 演奏者紹介 =

安保 恵麻

(あんぼ・えま/ヴィオラ)



4歳よりヴァイオリンを始める。

東京芸術大学音楽学部附属音楽高等学校を経て、東京芸術大学音楽学部を卒業。高校入学と同時にヴィオラへ転向。卒業時に同声会賞を受賞。

'97年、東京文化会館新進音楽家デビューコンサートに出演。

'99年、PMFに合格。PMFでは、首席奏者も務める。その他、宮崎国際音楽祭、アフニス夏の音楽祭、オホーツク音楽祭 in 紋別、イタリア・チェルボ国際音楽祭などの音楽祭にも参加。

'01年4月~'05年3月まで、東京芸術大学管弦楽研究部非常勤講師を勤める。

'05年4月に広島交響楽団首席ヴィオラ奏者に就任。

横浜シンフォニエッタのシーズンメンバー。

広島交響楽団では、定期演奏会等でソリストも数多く務めている。



= 演奏者コメント =

オーケストラの中では、サポート役に徹することが多いヴィオラですので、なかなかヴィオラだけの音色を聴く機会は少ないのではないのでしょうか？

B (バロック) → C (コンテンポラリー) まで、様々な楽曲をヴィオラ一本でお聴きいただこうと、この様なプログラムの構成にしました。

そして、ヴィオラの魅力を存分に楽しんで頂けると嬉しいです。